

平成22年11月26日

「JR北海道環境報告書2010」の公表について

地球温暖化などの環境問題は、世界的な課題として重要性を増しており、企業や個人においても循環型社会の実現、環境汚染物質の削減などの「地球環境への配慮」が求められています。JR北海道では、北海道の重要な資源である自然環境の保全、さらには地球環境の保全への貢献を目指して、社員一人ひとりの意識を高め、環境問題に取り組んでいます。

今回、昨年度に引き続き、平成21年度における環境保全への取り組み等をまとめた「JR北海道環境報告書2010」を公表しますので、お知らせします。

「JR北海道環境報告書2010」の概要

基本理念、基本方針、行動指針

事業活動による環境負荷

資源投入量、事業活動の主な実績及び環境負荷量（CO₂排出量）

環境保全コストとその主な効果

数値目標及び実績の推移

JR北海道のボランタリープラン（自主行動目標）と実績の推移

環境マネジメントシステムの状況

地球温暖化防止への取り組み

省エネルギー車両の導入、札幌線(学園都市線)の電化、環境に配慮した新技術の研究開発、本社照明のLED化等、環境にやさしい鉄道の利用促進、グループ会社の取り組み 等

資源リサイクルへの取り組み

ゴミ・乗車券類のリサイクル、水資源の有効利用、グループ会社の取り組み 等

列車の騒音・振動対策

鉄道施設及び車両に係わる対策 等

化学物質の管理状況

化学物質の管理、PCB廃棄物の保管と処理、グループ会社の取り組み

環境汚染への対応

新中小国信号場の灯油流出への対応

社会的取り組み

広報活動（環境イベントへの出展、函館駅の環境展開催）、植樹活動

詳しくは、当社ホームページの「JR北海道環境報告書2010」をご覧ください。

なお、今回より冊子の作成は行っていません。

ホームページアドレス：<http://www.jrhokkaido.co.jp/corporate/emv/report/index.html>